



製鉄機械や原子力関連機器の設計・製造を手掛けるSPエンジニアリング(茨城県日立市、泉富栄社長)は原子力関連施設で発生する低レベル放射性廃棄物を破碎し、圧縮する技術を開発した。処分用のドラム缶に従来より3割以上多く入れることができ、保管する場所や費用を抑えられる。実際の施設を使った試験を経て、2012年から販売を始める計画だ。

SPエンジニアリングが新装置

放射性廃棄物を圧縮処理

原子力発電所向けの燃料製造工程などでは、外部と遮断した環境で作業をする際に「グローブボックス」という機器を使う。鉛入りの手袋などを使ってボックス内で作業するが、使用済みの手袋

特殊なシュレッダーで廃棄物を細かく切り刻む(実験用の装置)

保管場所や費用 抑制 原子力施設向け 12年から販売

は手作業でドラム缶などに収納して廃棄する。新技術はシュレッダーで1センチ角程度に細かく切り刻んで真空パックする。ドラム缶への収納効率が高まり、鉛入り手袋の場合で3割以上多く入れることができる。原子力施設のフィルターに使われる木材など金属以外の大半の低レベル放射性廃棄物にも利用できる。

試験装置で効果を実証済みで、特許も出願した。6月をメドに製品化し、11年には実際の原発関連施設で実地試験を行う予定だ。国内だけではなく海外の原発関連施設などからの需要も見込んでいる。原発のほかにも「医

療機関から出る廃棄物などにも活用できる可能性がある」と(同社)とみています。

SPエンジニアリングは1974年の設立で、09年6月期の売り上げは約20億円。製鉄所向けに、売りに占める自社開発商品の割合を高めている。

受注開発だけでは成長に限界があるとみており、売りに占める自社開発商品の割合を高めている。

©日本経済新聞社 2010 (日刊)

日本経済新聞

1月15日
金曜日



発行所 日本経済新聞社
 東京本社 ☎(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 ☎(06)6943-7111
 名古屋支社 ☎(052)243-3311
 西部支社 ☎(092)473-3300
 札幌支社 ☎(011)281-3211
 NIKKEI NET アドレス
<http://www.nikkei.co.jp/>
 購読のお申し込み
 ☎0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>